

コンセントの位置をよく考えていなかった!

コンセントが家具に隠れてしまい
使えない!



コンセントの位置がわるくて
使いづらい!



せっかくの新居なのに
タコ足配線になってしまった!



平面図では、いいか悪いか
わからなかった!



コンセントの位置が不便で使いづらいという失敗例を数多く聞きます。

コンセントの位置の解決法は別紙へ (次)



「コンセントの問題」を未然に防ぐには?

やたらにコンセントの数を増やしても、意味がありません。営業マンが「ここここにあれば大丈夫です」といっても気をつけなくてはなりません。実際にそこで生活する人と、営業マンとの考えかたは違います。具体的な生活をイメージして親身になってくれる営業マンに相談しましょう。

解決策

- ① 実際に住んでからでないと、正直どこにどれだけのコンセントが必要かというのはわかりません。打ち合わせの時は平面図しかないので
- ② 平面図上の部屋の大きさと似ている実際のモデルルームなどに行って自分達の生活スタイルをイメージする。
- ③ 手持ちの家具、又は購入予定の家具の寸法を調べて、平面図に書き入れてみて家具（テレビ・パソコン・サイドボード位置など）のレイアウトを考え、実際に寸法や高さを測り、コンセントの位置を決める。
- ④ レイアウトがだいたい決まったら、再度モデルルームで家具のレイアウトを考え、実際に寸法や高さを測り、コンセントの位置を決める。
- ⑤ 実際の建築現場でコンセント位置を確認するとイメージが分かりやすいでしょう。

このように細かく検討をしても、建築が始まって、電気配線の工事になった時点で、実際の現場にて最終的に細かい確認と調整・移動をさせてもらえるかどうかを確認する事が大切です（させてもらえる会社は比較的安心といえます。）打合せ時に標準の数と追加になる数の確認もお忘れなく。

次回は

「契約後に追加料金ができるなんて!」をお送りします。